

## 看護学科 2年 前期 総合科目

1. 人権論
2. 英語コミュニケーション
3. カウンセリング

## 看護学科

科目名: 人権論			担当教員 氏名: 後藤 亜季、鷹西 恒 とりまとめ 中田			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次	前期	総合科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:			専門的知識・経験を生かして授業している。			
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
医療・福祉の現場において患者・利用者・家族の人権を保障することは看護師としての使命の第一であり、基本です。この授業では身近な事例から人権問題を学び、私たちが取り組むべき課題について考えます。					・基本的人権 ・自己決定権 ・居住の権利 ・生存権 ・子どもの権利 ・アドボガシー ・多様性	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)						
A 知識・理解力			基本的人権の意義を理解する。人権確立のための先人の努力を理解する。差別されている人びとのニーズを理解する。			
B 専門的技術			差別されている人や配慮が必要な人びとのニーズを受けとめ共感し保障できる。			
C 論理的思考力			人間の尊厳の意義を理解し論理的に説明できる。			
F チームワーク・リーダーシップ			人間の尊厳の意義を理解し論理的に説明できる。			
G 倫理観			基本的人権の観点から善いことを倫理的に考察し行動できるように努める。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 40 %	レポート: 40 %	発表: %	実技試験: %	その他: 20 %		
特記事項:【その他】については、小テスト、講義へ積極的参加(出席及び講義内発言等)で評価する。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 中間レポートに代えて毎回リアクションペーパーを課す。最終試験は別に定めた日時に実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: レポートは解説を行い、試験については採点して返却する。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①【後藤】ガイダンス(中田) 人権思想の発展						
②【後藤】 日本国憲法				【予習】配布された資料等を読む 【復習】	【予習】120分 【復習】120分	
③【後藤】 基本的人権の尊重1				【予習】配布された資料等を読む 【復習】	【予習】120分 【復習】120分	
④【後藤】 基本的人権の尊重2				【予習】配布された資料等を読む 【復習】	【予習】120分 【復習】120分	
⑤【後藤】 子どもの人権				【予習】配布された資料等を読む 【復習】	【予習】120分 【復習】120分	
⑥【後藤】 自己決定権				【予習】配布された資料等を読む 【復習】	【予習】120分 【復習】120分	
⑦【後藤】 医療と自己決定権				【予習】配布された資料等を読む 【復習】	【予習】120分 【復習】120分	
⑧【後藤】 セクシャリティーと自己決定権				【予習】配布された資料等を読む 【復習】	【予習】120分 【復習】120分	
⑨【鷹西】 過疎高齢社会と地域コミュニティ				【予習】配布された資料等を読む 【復習】	【予習】120分 【復習】120分	
⑩【鷹西】 居住福祉				【予習】配布された資料等を読む 【復習】	【予習】120分 【復習】120分	
⑪【鷹西】 生活弱者と居住の権利				【予習】配布された資料等を読む 【復習】	【予習】120分 【復習】120分	
⑫【鷹西】 生活弱者と生存権				【予習】配布された資料等を読む 【復習】	【予習】120分 【復習】120分	
⑬【鷹西】 差別と人権				【予習】配布された資料等を読む 【復習】	【予習】120分 【復習】120分	
⑭【鷹西】 セクハラ・名誉毀損・いじめと人権問題				【予習】配布された資料等を読む 【復習】	【予習】120分 【復習】120分	
⑮【鷹西】 多様な考え方や価値観について				【予習】配布された資料等を読む 【復習】	【予習】120分 【復習】120分	
⑯試験						
上記の順番は外部講師等の都合により変更することがある。						
使用テキスト: 特定のテキストは使用しない。適宜プリントを配布する。				その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): この講義を通して、基本的人権について自分のことばで説明できるようになってください。						

## 看護学科

科目名: 英語コミュニケーション				担当教員 氏名: 與座 卓					
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	2年次	前期	総合科目	演習	選択				
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:			海外60ヶ国以上での医療プロジェクト従事経験、日本国内看護師3,500人以上への英会話指導経験等を活かし、より効果的かつ効率的に医療現場を想定した看護師患者間のコミュニケーションを行えるよう指導する。						
授業科目の学修教育目標の概要:					キーワード				
医療施設内での外国人患者との会話を想定し、患者に対する質問、説明、指示、声掛け等に必要フレーズを習得し、かつ学習内容を適時アウトプットできるようにする。					基礎英語、看護英会話、英会話フレーズ、診療科名称、検査、症状、痛み、等				
授業における学修の到達目標									
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)									
A 知識・理解力			診療科ごとのフレーズ、看護業務ごとのフレーズ、症状や痛み等の表現方法を習得						
F チームワーク・リーダーシップ			グループごとの共同作業、リーダーを交代で務めてメンバー間調整方法等を習得						
H コミュニケーション力			患者への質問、説明、指示、及び患者からの質問、要望、クレーム等の対応法方法習得						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	50 %	レポート:	%	発表:	30 %	実技試験:	%	その他:	20 %
特記事項: 会話時の表現方法(質問、説明、指示等)を習得した上で、毎回講義の最後にはグループメンバーごとに発表する。また適宜米国人看護師資格者による講義動画を視聴することで実践的会話に役立てる。									
アクティブラーニング要素:									
課題解決型学修      ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 授業計画欄に記載。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: グループワークによる会話練習成果を毎回発表してもらい、それに対するコメントや説明を加える。また中間テスト及び最終テストを設けて、コメントをつけた上で返却する。									
授 業 計 画				準備学修(予習・復習等)					
				学修内容	学修に必要な時間(分)				
①翻訳と会話の違い、音読訓練の重要性、文法確認、診療科名称、方向案内等				基礎英語学習内容の復習と確認		【予習】30分 【復習】30分			
②会話フレーズ説明、グループ別会話練習(外来受付)と発表				フレーズ内容確認と音読反復練習		【予習】30分 【復習】30分			
③会話フレーズ説明、グループ別会話練習(トリアージ)と発表				フレーズ内容確認と音読反復練習		【予習】30分 【復習】30分			
④会話フレーズ説明、グループ別会話練習(バイタルサイン)と発表				フレーズ内容確認と音読反復練習		【予習】30分 【復習】30分			
⑤会話フレーズ説明、グループ別会話練習(採血)と発表				フレーズ内容確認と音読反復練習		【予習】30分 【復習】30分			
⑥会話フレーズ説明、グループ別会話練習(尿検査)と発表				フレーズ内容確認と音読反復練習		【予習】30分 【復習】30分			
⑦会話フレーズ説明、グループ別会話練習(心電図)と発表				フレーズ内容確認と音読反復練習		【予習】30分 【復習】30分			
⑧中間テスト、米国人看護師による講義動画視聴				学習進捗状況確認、ネイティブ英語視聴		【予習】30分 【復習】30分			
⑨会話フレーズ説明、グループ別会話練習(胸部レントゲン)と発表				フレーズ内容確認と音読反復練習		【予習】30分 【復習】30分			
⑩会話フレーズ説明、グループ別会話練習(造影CT、MRI)と発表				フレーズ内容確認と音読反復練習		【予習】30分 【復習】30分			
⑪会話フレーズ説明、グループ別会話練習(血糖測定、点滴・注射)と発表				フレーズ内容確認と音読反復練習		【予習】30分 【復習】30分			
⑫会話フレーズ説明、グループ別会話練習(点滴・注射)と発表				フレーズ内容確認と音読反復練習		【予習】30分 【復習】30分			
⑬会話フレーズ説明、グループ別会話練習(処置・クレーム対応)と発表				フレーズ内容確認と音読反復練習		【予習】30分 【復習】30分			
⑭会話フレーズ説明、グループ別会話練習(病室・病棟案内)と発表				フレーズ内容確認と最終テスト準備		【予習】30分 【復習】30分			
⑮学習内容のまとめ説明、質疑応答等				習得内容確認、今後の学習方法等指導		【予習】30分 【復習】30分			
⑯試験									
使用テキスト: 「看護英語のキホン」松井美穂著、秀和システム、本体1500円+税 ISBN978-4-7980-5864-1				その他参考文献など: 独自制作動画(テキストに合致、Youtube URL有り)米国人看護師による講義動画					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 音読による反復練習、グループ別会話練習と発表を中心とした指導を行う。受講者は、基礎英語に加えて、診療科名称や症状等に関連する語彙、関連するフレーズの意味等について事前にテキストや参考書を調べておくこと。またいつでもパツと言えことを目標として音読の反復練習による訓練をしておく必要がある。									

## 看護学科

科目名: カウンセリング				担当教員 氏名: 石津 孝治					
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	2年次	前期	総合科目	演習	選択				
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 臨床心理士としての心理臨床経験に基づき、事例を提示し、事例検討を行うことにより、理解を深める。									
授業科目の学修教育目標の概要:						キーワード			
本科目は、カウンセリングの理論と技法の基礎、そしてカウンセリングのプロセスについて扱う。精神分析やクライエント中心療法、行動療法といった、主要な学派の理論と技法について概説した後、事例検討を多く取り入れることによってカウンセリングプロセスについて学ぶとともに、知識を深める。						カウンセリングの理論・関係性・事例検討			
授業における学修の到達目標									
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)									
A 知識・理解力			カウンセリングの理論と技法に関する基礎的概念を理解する						
C 論理的思考力			理論がカウンセリングプロセスでどのように生かされるかについてイメージを持てる						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	100 %	レポート:	%	発表:	%	実技試験:	%	その他:	%
特記事項:									
アクティブラーニング要素:									
課題解決型学修      ディスカッション、ディベート      グループワーク      プレゼンテーション      実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:									
授 業 計 画				準備学修(予習・復習等)					
				学修内容	学修に必要な時間(分)				
①来談者中心カウンセリングの理論と技法に関する知識を習得する				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。		復習20分			
②来談者中心カウンセリングが重視する、共感、受容の本質について焦点を当て、事例を用いて理解を深める				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。		復習20分			
③事例検討1(PTSDの治療例を素材とし、心的外傷の援助について学ぶ)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。		復習20分			
④精神分析的カウンセリング(精神分析的な人格論、発達論、技法論に関する知識を習得する)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。		復習20分			
⑤プレイセラピーの理論と技法について学ぶ				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。		復習20分			
⑥事例検討2(子どものプレイセラピー実践例を素材とし、子どもの援助に必要な知識、態度について学ぶ)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。		復習20分			
⑦前半のまとめ				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。		予習30分			
⑧心理学的検査法(投影法による人格検査を実体験し、その方法と意義を学ぶ)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。		復習20分			
⑨事例検討3(うつ病の治療例を素材とし、うつ病者に対する援助方法について学ぶ)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。		復習20分			
⑩事例検討4(子どものプレイセラピーと箱庭を併用した実践例について学ぶ)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。		復習20分			
⑪コラージュ療法体験				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。		復習20分			
⑫事例検討5(被虐待児とその母親に対する心理治療例を素材とし、被虐待児と母親の援助について学ぶ)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。		復習20分			
⑬事例検討6(行動化を伴ったうつ症状を呈する心理治療例を素材とし、行動化の意味と対応について学ぶ)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。		復習20分			
⑭児童養護施設児童の心理的援助について学ぶ				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。		復習20分			
⑮全体のまとめ      カウンセリングの本質について				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。		復習30分			
⑯試験									
使用テキスト:				その他参考文献など:					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 本格的な事例の分析を扱います。事例から学ぶ姿勢を大切にしてください。									